

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公表番号】特表2006-522365(P2006-522365A)

【公表日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2006-038

【出願番号】特願2006-507214(P2006-507214)

【国際特許分類】

G 02 B 5/30 (2006.01)

C 08 J 5/18 (2006.01)

C 08 L 101/00 (2006.01)

G 02 F 1/1335 (2006.01)

【F I】

G 02 B 5/30

C 08 J 5/18 C E R

C 08 J 5/18 C E Z

C 08 L 101/00

G 02 F 1/1335 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒドロキシル化された線状高重合体を含み、かつ、原長を有するポリマーフィルムから偏光子を製造するための方法であって、

前記ポリマーフィルムを前記原長の約3.5倍から約7.0倍までの延伸長に延伸する工程と、

前記ポリマーフィルムを水性脱水触媒に浸漬する工程と、

前記ポリマーフィルムと前記触媒とを加熱して前記ポリマーフィルムの部分脱水をさせ、光吸收性ビニレンブロックセグメントが形成される工程と、を含む方法。

【請求項2】

前記延伸工程および前記浸漬工程が同時に行なわれる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ポリマーフィルムをホウ酸処理にかける工程をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記延伸および加熱されたポリマーフィルムを前記延伸長の0%～約100%伸長する工程をさらに含む、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記ホウ酸処理が少なくとも約50°の温度において行なわれる、請求項3に記載の方法。

【請求項6】

前記ホウ酸処理が、前記ポリマーフィルムを約1重量%～約20重量%の範囲の濃度のホウ酸を含む水溶液と接触させて置く工程を含む、請求項3に記載の方法。

【請求項 7】

少なくとも 1 つの二色性染料を前記ポリマー フィルムに添加する工程をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記少なくとも 1 つの二色性染料が黄色染料、青色染料、またはそれらの組合せである、請求項 7 に記載の方法。